



伝統の関関戦は、関大クラウン  
トなどを使って高校対抗でも毎年  
行われ、大きな盛り上がりを見せる

埋もれそうになっていた野球部に、もう一度光を浴びせたのだから。広岡監督はそう言いたかった。たとえ甲子園で関関戦が実現しなくても、両チームの戦いぶりは大いに話題を集めるはずだ。特にスターがいるわけがなく、全員で勝ってきたチーム（広岡監督）の関西学院と「私学ではあるけれども、いわゆる『野球学校』ではない。」ここにもあるチーム（尾崎監督）の関大。両ナインは、全国にいる同じような境遇の少年に「やればできる」という勇気をもたらすはずだ。そして、そのことは「六十周年ぶり」という数字以上に、はるかに意義のあることなのだ。

でも、もしも関関戦が実現したら……。それはそれで、こんなに楽しいことはない。甲子園のスタンドは、きつと満員になるでしょうなあ。そんな中で関関戦ができれば、人生最大の感激ですわ」と尾崎監督。野球の神様がこの春、さらにもう一つイキな計らいを見せてくれることを楽しみに待ちたい。

関西学院・広岡監督は「甲子園で関関戦ができれば死んでもいいです」と笑う

